

石橋美術館所蔵新聞切り抜き帳について 附：坂本繁二郎関連記事目次(1957年－1969年)

後藤純子(G)
植野健造(U)

1 日本近代美術史研究と新聞記事

日本近代美術史研究において、近年、調査の対象としての新聞記事の重要性にたいする認識が深まりつつある。美術史研究における新聞記事調査の現状、必要性、問題点などについては、東京国立近代美術館による報告書『近代日本の諸新聞における美術関係記事の調査研究－第一期：大正期を中心に』¹⁾の指摘するところである。すなわち、新聞記事は美術雑誌等の記事と比較して、即時性においてまさり、情報量において多大であり、多くの新知見がそこに含まれていることが予想されながらも、網羅的な調査の対象とするには困難もあり、個別的、断片的に活用されているにすぎないというのが現状であろう。一方、地方²⁾の美術館の研究者によって、それぞれの地域の地方新聞の記事を資料として活用することにより、地方独自の近代美術史の記述への可能性も模索されつつある³⁾。新聞記事を資料としてあつかう際の問題点など検討されなければならない点もあるが、日本近代美術史研究において、今後ますます新聞記事調査の必要性は増してゆくものと思われる。

ところで、昭和31年(1956)に開館した石橋美術館では、昭和32年以降、歴代の館職員によって新聞の美術関連記事の切り抜き整理の作業が継続されてきた。この作業を継続して40年近くとなる現在、切り抜き帳もすでに相当な量に達した。しかし、資料が増大化してゆくにしがたい、必要とする記事を検索する場合などの活用面での不便も増しつつある。おそらく、他の多くの美術館、博物館などでも同様の問題が生じつつあると思われるが、これまでのところ、そうした問題の解決や異なる施設館相互の資料の活用法などについての議論をあまり聞かない。また、コンピュータを使用した新聞記事のデータベース化やパソコン通信などを利用した記事検索などの技術も発達しつつある現在、この方面の技術の進展を視野に置いておく必要もある。

ともあれ、石橋美術館ではさしあたり新聞記事の切り抜き整理作業を継続してゆくつもりであり、したがって、その活用方法についてもさまざまなかたちで検討してゆきたいと考えている。

本稿は、以上のような状況をふまえ、石橋美術館における新聞記事の切り抜き整理作業の方法、資料の蓄積状

況、資料活用の際の問題点等に関する報告を試みるものである。あわせて、資料の活用という観点からの一つの試みとして、石橋美術館の新聞切り抜き帳から採取した坂本繁二郎に関する記事の目次(1957年－1969年)を作成した。今後もさらに蓄積された新聞記事の活用について検討してゆきたい。ささやかな試みではあるが、多方面よりのご教示を期待するものである。(U)

2 石橋美術館における新聞記事の収集状況と整理法

石橋美術館では、平成6年現在、『朝日新聞(西部本社版)』、『毎日新聞(西部本社版)』、『読売新聞(西部本社版)』、『西日本新聞』、『日本経済新聞』の5紙の朝・夕刊を購読している。切り抜き帳作成開始の昭和32年(1957)から現在までの切り抜き記事に記された紙名や日付からみると、当初は『朝日新聞』、『毎日新聞』、『西日本新聞』、『フクニチ新聞』の4紙が購読されており、昭和40年1月から『読売新聞』、昭和59年4月から『日本経済新聞』が加わり、平成4年4月以降『フクニチ新聞』が休刊となり、現在に至っている。作業開始以来、新聞記事の切り抜き整理作業は中断されることなく、現在は平成4年度分まで製本され計221冊の新聞切り抜き帳を所蔵している。

新聞記事の整理の方法としては、切り抜き作業を開始した職員によって細かな新聞記事の分類が行われており、基本的には現在にいたるまでこの分類に従って記事が収集され、記事の分類、切り抜き帳への貼り込みが行われてきた。分類は下記のとおり大きく9つに分けられる。

A. ニュース

美術に関するニュースで次のB～Iのいずれにも該当しない記事。

(例：美術品の盗難、発見、オークションなど。)

B. 展覧会

展覧会に関する記事。

(例：展覧会の情報、告示、特集記事など。)

C. 芸術家の動静

芸術家の近況、消息を知らせる記事。

(例：死亡、受賞記事など。芸術家による随筆や談話などはここに収める。)

D. 批評・評論

美術・芸術に関する批評や評論。

(例：展覧会評、研究・調査などの発表文、コラムなど。美術・芸術に関する細かな記事やシリーズ物はここに収める。)

E. 刊行物

美術・芸術関係の出版物などに関する記事。
(例：新刊案内、書評など)

F. 児童

児童に関する美術記事。
(例：子どもの絵や書道の展覧会の記事、受賞など。)

G. 工陶芸・文化財

工芸・民芸や文化財に関する記事。
(例：文化財の新指定など。)

H. 考古学

考古学に関する記事。
(例：古墳の発掘など。)

I. 石橋美術館

石橋美術館に関する記事。
(例：石橋美術館開催の展覧会記事など。)

以上のように石橋美術館では、美術に関する記事の他、広く文化財や考古学に関する記事も収集している。

具体的な作業の内容は、1ヶ月に一度、購読している全ての新聞を各新聞の朝・夕刊ごとにまとめ(連載記事などの採取漏れがないようにするため)、美術や文化財・考古学などに関する記事を採用していく。採用する際に、切り抜きした記事に新聞紙名(各新聞紙名の頭文字)、日付、分類アルファベットを付け、他に夕刊や筑後版・福岡県内版などの地方版の記述が必要なものにはこれも付ける。こうして切り抜いた記事を分類ごとにまとめ、同じ分類の記事は原則として日付順にスクラップブックに貼り込み(ただし連載ものや関連記事はなるべく同じところへ貼る)、各分類の初めの頁に分類のインデックスシールを付けてひとまず作業をおく。そして、次年度に前年度分を1ヶ月ごとに12分冊に製本して作業は終わる。当初は1年間の記事を分類によって数冊にわけて製本していたが、記事の増加により分冊数が増えたので月ごとの製本に変更した。一連の作業がそれなりの時間と資料保管の空間を必要とするとは言うまでもない。(G)

3 新聞切り抜き帳活用とその問題点

今までに多くの時間と手間をかけて蓄積されてきた新聞の切り抜き帳を、何とか有効に活用することはできないか、またどのような利用方法が望ましいかを検討するなかで、今回、坂本繁二郎に関する記事を切り抜き帳からあらためて採取し、簡単なデータベースを作成することを試みた。この作業を通じて、これまでの新聞切り抜き帳の整理作業についての不備な点や、記事検索についての方法、外部機関の新聞記事データの活用などいくつ

かの問題点と検討事項がうかびあがってきた。

まず、これまでの新聞切り抜き帳の整理作業の問題点について述べる。切り抜き記事に付す記述のなかで、昭和56年8月までは朝・夕刊、地方版の記述がない。このため、今回の坂本繁二郎関連記事目次作成の作業においては朝・夕刊の別や地方版掲載の記事であることを示すデータをもりこむことができなかった。基本的なことであるが、新聞から必要な記事を切り取る際にはその記事の掲載紙名、日付、朝・夕刊や地方版の区別、できれば記事掲載頁(面)などの切り抜き記事に付随する情報をも正確に採取すること、くわえてそれらの情報を分かりやすく正確に記述することが大切である⁴⁾。また切り抜き帳は長年蓄積され、それを整理した人以外の人が後に利用したり作業を継続してゆくことが考えられるので記事分類のマニュアルや切り抜き記事に付す記述に関する項目を明文化しておく必要もあろう。さらに、新聞の紙質は劣化しやすいものなので貼り込みの仕方や保存状態にも十分に気をつける必要がある。

記事の検索についてみると、現状のままでは、必要とする記事についてのおよその掲載年月日と石橋美術館で定めた記事の分類法を知っていなければ、記事を探し出すことは難しい。また、同じ分類基準でも整理担当者によってその記事を採用するかどうかの判断や採取した記事をどの分類に収めるかなどに個人差があり、分類も有効な検索手段とはいえない面がある。そこで記事の一つ一つに内容を表すいくつかの語を付与しデータベース化して、キーワードによる検索で記事を探す方法が考えられるが、これまで蓄積したすべての記事に索引作業をあらためて行うことは困難である。今回試みに坂本繁二郎の関連記事に限って簡単な目次を作成する際にも検索のことを考えて、作家名・作品名・展覧会名やその他記事中に記載されている人名やいくつかの単語をキーワードとして付与してみたが、記事の内容をいくつかの単語で表すことは困難な作業であった。さらに付与した語で精度の高い、より専門的な検索が行えるように検索語を管理・統制していくためには新聞記事に関する用語だけでなく美術分野の専門用語についても十分な知識が要求され、今のところ日本における標準的な美術分野のシソーラスなどのツールも見あたらないので、今後の課題として検討を続けてゆきたいと考えている⁵⁾。

次に、新聞記事情報に関する参考図書などとの併用による新聞記事切り抜き帳の活用について述べる。新聞記事索引、ニュース事典、年鑑類などの2次資料を検索の手段として活用し掲載された日付や記事内容などを確認したうえで、切り抜き帳を1次資料として活用することも考えられる。ただし、全国紙の縮刷版の索引や記事総

覧などは収録対象紙が東京本社最終版であり、石橋美術館で収集する記事とは掲載される紙面が違う場合もあることや地方版に掲載された記事は索引の対象とはなっていないことなどを考慮しておく必要がある。今回の坂本繁二郎のように地方に在住した画家の場合、細かな記事の多くが地方版の紙面に掲載されており、このような場合には坂本の居住地に近い石橋美術館の新聞記事切り抜き帳の価値は大きい。

また最近ではコンピュータによる新聞の編集・制作が行われるようになり、新聞紙面データを機械処理して記事データベースを作成し、パソコン通信などの回線を通して新聞記事の検索・情報提供サービスが行われ広く利用されている。代表的な日経テレコンにおいては『日本経済新聞』のみならず『朝日新聞』、『読売新聞』、『毎日新聞』の全国紙をはじめ、『西日本新聞』、『静岡新聞』などのブロック紙、地方紙、業界専門紙からも記事を検索することができ、1紙ごとまたは複数の新聞を一括して検索することもできる。実際に“アオキシゲル”（青木繁）のキーワードで朝日新聞を平成5年7月～平成6年5月の期間で検索してみたところ、瞬時に22件の検索結果が出され（うち9件はノイズ）、地方版の記事もフルテキストで得ることができた。また最近では記事を「切り抜き」型のイメージ情報として蓄積し、必要な記事をファクシミリ送信するサービスも始められた⁶⁾とのことで、これらのオンラインデータベースを利用すれば新聞の切り抜き作業そのものが不要とも思われる便利さがある。しかし、現時点では収録期間が昭和60年(1985)以降と比較的新しい時期の新聞しか検索できない、通常は数値・文字情報のみで写真や図表などはあるか否かしか表示されない、基本料金と接続時間による従量制で料金が加算されるので何度もいろんな角度から検索するには費用がかかりすぎるなどの問題もある。経済や科学技術分野などで最新の情報の収集、事実確認のためにこれらのオンラインデータベースが利用される場合と文学や美術など人文系分野において当時の詳細な状況を知るための資料として過去に遡って丹念に関連の新聞記事を集め、さまざまな角度からそれらを見直したり時間的経過をたどってゆくといった利用をする場合には、新聞記事の利用の仕方において根本的に違いがあるといえよう。

切り抜き帳が即時性や検索などに関しては不備が多いとしても、美術に関する新聞記事そのものが記載されたかたちのままにいつも身近にあり簡単に閲覧することができるという点に、新聞切り抜き帳の大きな利点があると思われる。近い将来に新聞の切り抜き作業は不要になる状況も出現するであろうが⁷⁾、以上のような理由でとりあえず今後もしばらくは切り抜き作業は継続すること

が妥当であると考えられる。また、蓄積された新聞切り抜き帳の活用の試みとして石橋美術館所蔵作品の主要作家である青木繁、坂本繁二郎、古賀春江に関する新聞記事目次の作成を継続してゆくことを計画している。データの記述についてや検索語の統制・管理など、情報学関係者をはじめ広く美術に関する専門家の方々にご教示をお願いしたい。(G)

4 坂本繁二郎関連記事目次(1957年～1969年)

坂本繁二郎(1882～1969)は、石橋美術館の所蔵作品の一つの柱をなす画家である。坂本は大正13年(1924)にフランスより帰国後、郷里の久留米に帰り、昭和6年(1931)には久留米に近い八女に移り住み、以後昭和44年(1969)に没するまでの生涯を同地で過ごした。このような坂本の晩年の消息や動向を詳細にたどろうとすると、石橋美術館の新聞切り抜き帳は貴重である。ただし、石橋美術館の新聞切り抜き帳は昭和32年(1957)に始まっているので、切り抜き帳によって坂本の情報や動向をたどるのは、坂本の75歳から没年の87歳までのわずか13年間に過ぎない。しかし、坂本に関する記事が新聞紙面にたびたび登場するようになるのは、昭和31年の文化勲章受章以後のこととみられ、まさに晩年の13年間こそは坂本について新聞記事がもっとも多くの情報を提供してくれた時期ともいえる。

以上のようなことから、坂本繁二郎に関する昭和32年(1957)から昭和44年(1969)までの新聞記事の目次を作成することを試みた。目次を作成するにあたり、記事を年月日順に並べることによって、いくらかは簡単な年譜たりうるように意図した。

目次の作成作業をひとまず終えて注意された点をいくつか述べてみる。

福岡県久留米市とその周辺は、筑後画壇と称される独特の芸術風土をもつといわれる。そうした芸術風土の形成にはさまざまな要因が考えられるが、坂本が存在が果たした役割が大きかったことがあらためて実感された。坂本はたびたび言われるように、直接の弟子をとり手とり足とりで指導する画家ではなかった。しかし、新聞記事をひろってゆくと、昭和12年に近隣に住む画家らの懇請によって始められた「新人会」をはじめとして、「青稲会」や「核」といった筑後地区の当時の新進、中堅の画家たちのグループを批評会というかたちで根気強く指導し、それらの画家たちのグループ展や個展には老齢にもかかわらず姿をみせていた状況が鮮明にうかがいがつてきた。当時の筑後の画家たちにとって坂本に批評を受

け、展覧会に坂本が姿をみせてくれることが何よりの励みであったに違いない。また、柳川市での坂本の指導、審査による児童画の講習会は坂本門下の画家の協力もあり坂本の没年まで20年間にもわたり続けられた。坂本が八女に定住して以後没するまでのほぼ40年間に、筑後の画壇はまさに坂本を頂点としてしかも裾野がまねにみるほど広い芸術風土を形成していった感があり、新聞記事はこのことを見事に語っているように思われた。

また新聞記事には、《牛》(1920年、石橋美術館蔵)の制作に関する坂本の回想や、《放牧三馬》(1932年、石橋美術館蔵)の坂本自身による修復の記事など、作品に関する貴重な情報も少なくない。しかし、新聞記事の面目躍如たる点は、坂本の日常生活や消息をこと細かに伝えてくれる点にあらう。いく度も眼病と闘い、家族を思いやり、筑後の櫛の木を愛し、青木繁や北原白秋といった同郷の芸術家の顕彰に力を尽くし、選挙はかかさず投票し、しかし生活の中心にはつねに絵画制作のことがあった。そのような人間坂本の姿を新聞記事はさまざまな角度から伝えてくれる。そして、そのような些細な記事の集積によって描き出された人間坂本像は画家坂本像を理解するうえで決して軽視できないと考えられるのである。

ここに試みた坂本繁二郎に関する新聞記事の整理を通じてえられた情報を、坂本の作家研究や作品研究にいくらかなりとも反映することが今後の課題である。(U)

(ごとうじゅんこ うえのけんぞう 石橋美術館)

註

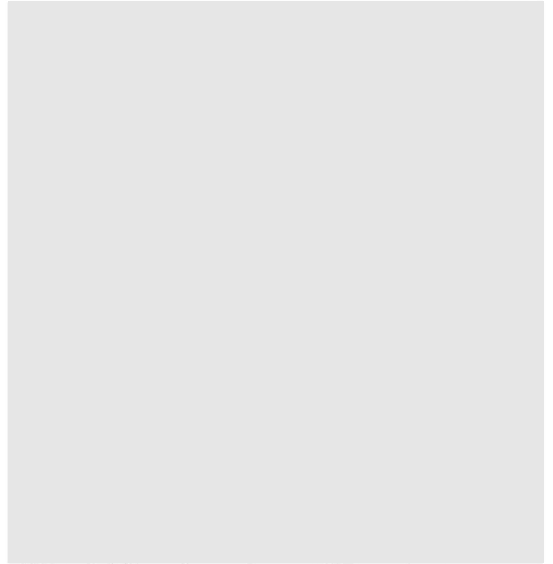
- 1) 『近代日本の諸新聞における美術関係記事の調査研究—第1期:大正期を中心に(平成4年度科学研究費補助金研究成果報告書)』、東京国立近代美術館(研究代表者:本江邦夫)、平成5年3月
- 2) ここでいう「地方」とは基本的には日本国内の一部分の地域を意味するが、東京ではない一地域をさして用いている場合もある。
- 3) 西村勇晴編「資料による宮城県美術編年史(-)」『宮城県美術館研究紀要』2号、昭和62年3月
西村勇晴編「宮城県美術年表 1945~1970」『宮城県美術館研究紀要』6号、平成3年3月
古家良一「九州日日新聞・美術関係記事抜粋 自治治30年6月1日至明治35年6月30日」『熊本県立美術館研究紀要』5号、平成4年3月
古家良一「九州日日新聞・美術関係記事抜粋 自治治35年7月1日至明治37年4月30日」『熊本県立美術館研究紀要』6号、平成5年3月

北畠健「『いはらき』新聞における美術に関する記事等総目次 その一 創刊~明治41年12月」『茨城県近代美術館研究紀要』1号、平成3年3月

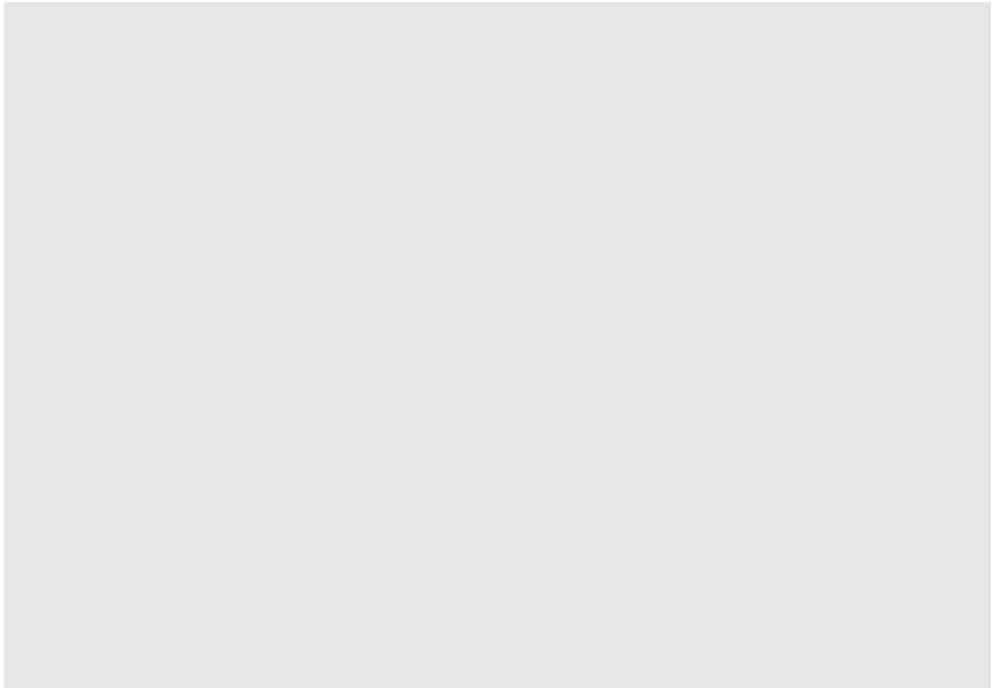
北畠健「『いはらき』新聞における美術に関する記事等総目次 その二 明治42年1月~大正元年12月」『茨城県近代美術館研究紀要』2号、平成5年3月

村山鎮雄『福島の近代美術』、平成4年5月、三好企画

- 4) 佐野眞『自分だけのデータ・ファイル—新聞情報の整理法—』(平成5年、日本エディタースクール出版部)では、新聞は印刷ぎりぎりの時間まで最新の情報を載せるために版を重ねるため、掲載紙の記述には新聞紙名・朝夕刊の別・日付・面のほかに、厳密に言えばこの版についても記述する必要があるとしている。本書は個人的に新聞切り抜き帳を作成しそれを活用していく方法を述べたものであるが、新聞そのものや外部データ、新聞資料所蔵機関などの情報にも言及している。
- 5) 石井昌之「日本経済新聞記事データベースの品質管理」『情報の科学と技術』44巻4号、平成6年4月。また新聞記事の索引作成について関西女学院短期大学の平井歩実先生より多くの助言と索引作業に関する参考資料をいただいた。ここに記して感謝いたします。
- 6) 神尾達夫「日経ニュース・テレコン」『情報の科学と技術』40巻10号、平成2年10月
- 7) 最近の某電機会社のテレビコマーシャルにあるように、大量の新聞を画像データとして光ディスクに記録し、記事を検索語によって検索し必要な記事のハードコピーも画像としていつでも自由に採れるという技術はもうすでに開発されている。古い時期の新聞記事に対する索引付与の遑及作業が進むこととコストの問題が解決されれば新聞切り抜き帳も不要となるだろう。



新聞切り抜き帳 1961年-3, 『フクニチ新聞』1961年1月19日



新聞切り抜き帳 1966年-2, (左)『西日本新聞』1966年2月15日, (右)『朝日新聞』1966年2月26日

坂本繁二郎関連記事目次(1957年-1969年)

凡例

- 1) 本目次は、昭和32年から石橋美術館において作成し所蔵している新聞切り抜き帳の中から坂本繁二郎に関する記事を採用し、昭和32年1月から昭和44年12月までの期間に限って一覧表としたものである。
- 2) 収録紙は当初『朝日新聞』、『毎日新聞』、『西日本新聞』、『フクニチ新聞』の4紙で、昭和40年1月から『読売新聞』を加え5紙となっている。この他にも『筑後日々新聞』、『日本経済新聞』など時折貼り込まれている記事も採用した。
- 3) 石橋美術館の新聞切り抜き帳は、この時期、新聞紙名・日付のみを採用した記事に記載していたので、本目次には朝・夕刊の別、地方版などに関するデータをいれることができなかった。
- 4) 本目次の記載については以下のとおりとした。
 - ①記事の順序は発行年月日順とし、同じ日付の場合は新聞紙名の50音順とした。
 - ②「切抜帳」の項目は切り抜き帳の年次と分冊数次を表したものである。切り抜き記事は、この時期、内容分類に従い数冊に分けて製本されているため、日付順に配列すると分冊数次が前後する場合もある。
 - ③「執筆者」の項目は記事中の表記に従ったが、〈談話会〉などの記載を補ったものもある。
 - ④「見出し」の記載については原則として記事の表記に従い、大見出し、小見出しの順に記載したが、「見出し」を読むだけでおおよその内容を把握できることを配慮し、順序を変えて記載したものもある。また、見出しが多数ある場合など、いくつかの見出しを省略したものもある。コラム記事に関してはコラム名を〈 〉で表した。連載記事は連載番号を()にいった。
 - ⑤コラム名や見出しだけでは内容がまったく不明と思われる記事には、本文の一部を引用したものもある。また、〈番組紹介〉〈社告〉など記事にはない記載を補ったものもある。
 - ⑥記事の見出しの中には明らかに誤植と思われるものがあつたが、記事の表記どおりに記載した。また、切り抜き記事に記載された新聞紙名や日付の中にも誤りと思われるものもあつたが、これも切り抜き帳の記載どおりとした。また、記載記事の中には連載番号よりみて採取漏れとみられる記事もあるが、これを原紙や他の資料等によって補うことはしなかった。(G, U)

坂本繁二郎関連記事目次（1957年－1969年）

新聞紙名	発行年月日	切抜帳	執筆者	見出し	
1	フクニチ	1957年01月02日	1957-1	原	文化勲章の新春 坂本画伯清談
2	西日本	1957年01月06日	1957-1		坂本画伯かこんで 新人会の二十周年記念新春総会
3	朝日	1957年01月11日	1957-1		〈青鉛筆〉 本文：文化勲章を受けた坂本繁二郎画伯が「泊船暁光」と題する版画百枚を…
4	朝日	1957年01月27日	1957-1	G記者	躍進する筑後画壇 出よ、第二の坂本、青木
5	西日本	1957年02月25日	1957-1		坂本画伯の顔 今里氏が彫刻に
6	西日本	1957年06月27日	1957-1	平	らくがき文化地理 九州山口 ②の 筑後
7	毎日	1957年08月31日	1957-3	坂本繁二郎(談)	わが十代の思い出 ②6 夢中でつづけた絵
8	朝日	1957年09月05日	1957-1		巨匠、再起の筆握る 坂本繁二郎画伯視力を回復
9	朝日	1957年09月10日	1957-3	杉山洋(えと文)	筑後の秋 (1) 本文：…坂本繁二郎先生のお宅におうかがいし…
10	毎日	1957年09月10日	1957-1		青木繁の画集決定版を作る
11	フクニチ	1957年09月12日	1957-1		衰え見せぬ制作意欲 健康回復の坂本画伯
12	毎日	1957年09月19日	1957-1		未完の大作は待つ 元気で「絵筆再び」 眼病と闘う坂本繁二郎画伯
13	西日本	1957年10月03日	1957-1		青木繁画伯の画集発行
14	毎日	1957年10月05日	1957-1		青木繁画集の決定版を 友人の坂本画伯らが編集着手
15	朝日	1957年10月15日	1957-1		創立20年を迎える 坂本画伯を囲む新人会
16	朝日	1957年11月08日	1957-1		〈文化横丁〉 絵の値段
17	朝日	1957年11月17日	1957-1		数日中に再起の退院 坂本繁二郎画伯 眼の再手術に成功
18	西日本	1957年11月17日	1957-1		開眼した坂本画伯 “また馬をえがきたい”
19	西日本	1957年11月23日	1957-1		坂本画伯元気で退院
20	朝日	1957年11月29日	1957-1		ハゼの記念碑建設 ハゼ好きの芸術家らが計画
21	西日本	1957年12月26日	1957-1		“開眼”の巨匠 坂本繁二郎画伯 目と戦って30年 “スケッチにも行くよ”
22	西日本	1958年01月07日	1958-1		眼鏡の贈物に大喜び 坂本画伯 五月には阿蘇スケッチ？
23	朝日	1958年01月20日	1958-2	隆	幻想の美しさ 坂本繁二郎 馬の写生展
24	西日本	1958年02月23日	1958-2	便	にじみ出る誠実さ “坂本繁二郎素描展”から
25	毎日	1958年02月25日	1958-2	谷口鉄雄	坂本繁二郎素描展
26	西日本	1958年03月27日	1958-1		30日に青木画伯追悼しけし祭 久留米市
27	朝日	1958年04月15日	1958-1		〈続文化横町〉 坂本画伯と新人画家
28	西日本	1958年04月15日	1958-1		〈きじ車〉 弟子を励ます坂本画伯
29	朝日	1958年06月08日	1958-1		坂本画伯かこむ“新人会”
30	朝日	1958年08月02日	1958-2		〈ぼくらの夏休み〉 坂本画伯らが指導 第11回児童画講習会
31	フクニチ	1958年08月28日	1958-1		ほろびるハゼの木に愛惜 “記念碑”を建てよう 筑後路の文化人ら 坂本画伯を中心に計画
32	西日本	1958年10月26日	1958-3	坂本繁二郎(談)	わが友の記 (5) 絶対ウソの言えぬ人 自然児・石井鶴三さん
33	朝日	1958年11月05日	1958-2	隆	〈画展から〉 “希少価値”をみせる 坂本繁二郎・鳥海青児展
34	フクニチ	1958年12月23日	1958-1		坂本画伯の喜寿祝う 筑後地方の“新人会”20名
35	筑後日々	1959年01月05日	1959-3	丸山豊	己が道を悠々と進む坂本繁二郎
36	毎日	1959年01月11日	1959-3	藤田君幸(カメラ)	喜寿の新春 坂本繁二郎画伯
37	西日本	1959年01月13日	1959-1		坂本画伯喜寿の喜び 八女で新人会などがお祝い
38	西日本	1959年02月21日	1959-1		筑後平野 その④⑤ 郷土の先輩 (上) 偉大な三人の画家 坂本繁二郎、青木繁に古賀春江
39	朝日	1959年05月17日	1959-1		新人会
40	西日本	1959年07月28日	1959-1		お体に気をつけて 八女市楠ノ実少年隊 坂本画伯を見舞う
41	西日本	1959年08月26日	1959-2		坂本画伯が楠ノ実少年隊に基金贈る
42	朝日	1959年10月04日	1959-2		第一回西部秀作展 生きる西日本の伝統 あでやか・繁二郎の新作
43	朝日	1959年10月08日	1959-1		未完の大作に情熱 坂本画伯 衰えた視力も回復
44	フクニチ	1959年10月08日	1959-1		“美術の秋”に創作意欲もやす坂本画伯 未完成の大作「雲仙」「阿蘇」完成へ

45	西日本	1959年11月05日	1959-3		反俗の顔 (1) 坂本繁二郎 超一流の“田舎画伯”
46	西日本	1959年11月16日	1959-1		八女市へ油絵 坂本画伯が寄贈
47	毎日	1959年11月16日	1959-1		〈雑記帳〉 本文：わが国洋画壇の巨匠坂本繁二郎画伯…八女市に十号の油絵“箱”を寄贈…
48	毎日	1959年12月18日	1959-3		話題アンコール (5) 喜寿を迎えた坂本繁二郎画伯 八女の名誉市民に
49	朝日	1960年01月04日	1960-3		画家 坂本繁二郎氏 正月はホンのお義理に
50	西日本	1960年01月19日	1960-1		坂本画伯をかこんで 洋画新人会の新年初例会
51	朝日	1960年02月16日	1960-1		坂本画伯と耳の不自由な画家 絵の指導は筆談で
52	フクニチ	1960年03月28日	1960-1		カッポ酒で故青木氏のぶ 久留米 けしけし祭りにぎわう
53	フクニチ	1960年05月23日	1960-1		八女公園に坂本画伯の胸像 市長が発起人 市民の寄付で建設
54	朝日	1960年05月28日	1960-1		八女で坂本画伯の胸像作る
55	西日本	1960年06月15日	1960-1		坂本画伯の胸像建設を計画 八女文化連盟
56	毎日	1960年07月29日	1960-1		「坂本繁二郎夜話」を発行 熊本市で限定版五百部
57	フクニチ	1960年08月21日	1960-1		坂本画伯の胸像建立募金を呼びかけ 八女 発起人会
58	フクニチ	1960年08月23日	1960-3		それでも筆は離さない 眼病と闘う坂本画伯
59	朝日	1960年08月28日	1960-1		〈話の小箱〉 本文：坂本繁二郎画伯の胸像建立発起人会は…
60	朝日	1960年09月15日	1960-1		30年の交友 画と花と庭 老いてさかんな三人 初秋に語り合う 坂本、杉本、東さん
61	毎日	1960年10月22日	1960-1		花田芳雄個展に坂本画伯
62	西日本	1960年11月17日	1960-1		六十年ぶりの歓談 坂本画伯囲み教え子が同窓会
63	西日本	1960年11月23日	1960-3		〈風車〉 “青稲会”が東京で同人展 本文：坂本繁二郎画伯門下の若いグループ“青稲会”が…
64	朝日	1960年12月06日	1960-2	武者小路実篤	「この道」展について
65	フクニチ	1961年01月01日	1961-3		わが妻 (1) 坂本繁二郎画伯 カホル夫人
66	西日本	1961年01月09日	1961-3		健在なり (5) 洋画 坂本繁二郎(78歳)
67	毎日	1961年01月09日	1961-1		ヒナ型出来上る 坂本画伯銅像に打込む今里氏
68	毎日	1961年01月17日	1961-1		和やかに厳しく 新人会の集い 坂本画伯が指導
69	フクニチ	1961年01月19日	1961-3		『黒い牛』を描いたころ 坂本繁二郎氏語る
70	西日本	1961年01月21日	1961-1		坂本画伯も会場へ 二紀会展 はなやかに開幕
71	西日本	1961年02月08日	1961-1		〈告知版〉 久留米 本文：有馬記念館(篠山城跡)は…坂本繁二郎、故古賀春江、青木繁の初期の作品(いずれも未公開)を展示…
72	朝日	1961年02月15日	1961-3	点	ある日ある人 (4) 坂本繁二郎氏
73	フクニチ	1961年02月26日	1961-2		芸術づく白秋の出身校 連続5回県展優勝の矢留小学校 坂本画伯も指導
74	毎日	1961年03月01日	1961-1		あす79才の誕生・坂本画伯 「行きつくところのない絵の道」
75	朝日	1961年03月02日	1961-3		なおカンバスに情熱 79歳迎えた坂本画伯
76	毎日	1961年03月02日	1961-2	坂本繁二郎(談)	イタリア彫刻展に寄せて
77	西日本	1961年03月09日	1961-1		坂本画伯を訪れた米国総領事夫妻
78	西日本	1961年03月12日	1961-1		わずかに25万円 集まらぬ坂本画伯の銅像募金
79	朝日	1961年04月19日	1961-1		もの申す 銅像建立の募金が不明朗だ
80		1961年05月	1961-1		坂本画伯柳川へ
81		1961年05月	1961-1		坂本画伯も顔みせる 大坪権治氏の個展
82	西日本	1961年05月04日	1961-1		坂本画伯が訪れる 大坪権治氏の個展
83	朝日	1961年05月10日	1961-1		除幕式は文化の日 坂本画伯の像、制作すすむ
84	フクニチ	1961年05月26日	1961-1		坂本画伯の“銅像原型”完成 彫刻家今里氏の手で 11月初め八女公園で除幕式
85	フクニチ	1961年07月05日	1961-1		第七回坂本画伯銅像建立委員会
86	朝日	1961年07月30日	1961-1		今里竜生氏八女へ
87	フクニチ	1961年08月01日	1961-1		完成近い坂本翁の銅像 八女、製作者の今里氏が帰郷
88	朝日	1961年08月04日	1961-1		文化の日に除幕式 坂本画伯の銅像、月末に完成

89	西日本	1961年08月15日	1961-1		坂本画伯銅像の木組みできる
90	朝日	1961年08月26日	1961-1		八女公園で地鎮祭 坂本画伯の銅像
91	フクニチ	1961年08月26日	1961-1		坂本画伯の銅像来月に据え付け 八女西公園で建地鎮祭
92	毎日	1961年08月26日	1961-1		坂本画伯の座像地鎮祭 八女市
93	フクニチ	1961年09月08日	1961-3		人物登場 (7) 今里龍生氏 坂本画伯の銅像製作
94	朝日	1961年09月09日	1961-1		早速組み立て終わる 八女 坂本画伯の銅像が到着
95	西日本	1961年09月09日	1961-1		坂本画伯の銅像をすえ付け 『文化の日』に除幕式
96	毎日	1961年09月10日	1961-1		ひっそりと建つ坂本繁二郎像 その名も“空”
97	毎日	1961年11月01日	1961-1		三日に除幕式 坂本繁二郎画伯の銅像
98	西日本	1961年11月03日	1961-1		スケッチ姿の銅像 坂本画伯 八女公園にできる
99	朝日	1961年11月04日	1961-1		坂本画伯の銅像除幕式
100	西日本	1961年11月04日	1961-1		にぎわった“文化の日” 盛大に銅像除幕式や美術展も
101	西日本	1961年11月04日	1961-1		郷土の三大芸術家を讃う
102	毎日	1961年11月04日	1961-1		坂本画伯の銅像建つ 八女公園で除幕式行なう
103	朝日	1961年11月05日	1961-1		秘蔵の「母の像」も 坂本氏作品展
104	フクニチ	1961年11月09日	1961-1		本文：八女市西公園に坂本繁二郎画伯の銅像が…
105	西日本	1961年11月	1961-3		〈風車〉 坂本繁二郎氏の銅像
106	朝日	1961年11月14日	1961-1		坂本画伯銅像建立委員会
107	フクニチ	1962年03月18日	1962-1		盛大に“ハゼの歌”発表 八女の小山田さん作曲 坂本画伯もかけつく
108	西日本	1962年03月19日	1962-1		新作能“ハゼ”の発表会 謡曲は井上画伯作
109	毎日	1962年03月20日	1962-1		坂本、青木両画伯モチーフに 八女 新作謡曲 “はぜ”発表会
110	朝日	1962年07月06日	1962-1		坂本画伯が激励 元気な姿で 井上さんの個展へ
111	フクニチ	1962年07月08日	1962-1		“郷土で初めての個展” 筑後市出身井上画伯 坂本画伯も会場へ
112	西日本	1962年08月03日	1962-1		暑さ忘れて千人 坂本画伯指導の図画講習会
113	朝日	1962年09月17日	1962-3	坂本繁二郎	思い出すまゝに (1) 明治時代
114	朝日	1962年09月18日	1962-3	坂本繁二郎	思い出すまゝに (2) 青木繁君
115	朝日	1962年09月19日	1962-3	坂本繁二郎	思い出すまゝに (3) コロー
116	朝日	1962年09月20日	1962-3	坂本繁二郎	思い出すまゝに (4) フランスと風土
117	朝日	1962年09月21日	1962-3	坂本繁二郎	思い出すまゝに (5) 日本の風土
118	西日本	1962年10月24日	1962-1	平島忠太郎	読者の一日記者 (3) 坂本繁二郎画伯と会う
119	西日本	1962年10月27日	1962-1		青木繁の絶筆みつかる 佐賀の古道具屋で 坂本繁二郎画伯が鑑定
120	西日本	1962年11月04日	1962-1		咲き乱れる花を楽しむ坂本画伯 八女の婦人会が招待
121	朝日	1962年11月05日	1962-3		新・人国記 (31) 福岡県 (8) 坂本繁二郎
122	フクニチ	1962年11月05日	1962-1		銅像前で花束贈る 八女 名誉市民の坂本画伯に
123	朝日	1962年11月07日	1962-3		〈素描〉 本文：…坂本繁二郎画伯の画業七十年回顧展…
124	朝日	1962年11月13日	1962-3	隆	坂本繁二郎の芸術 自ら求めた“孤独の画家”
125	毎日	1962年11月13日	1962-1		〈文化短信〉 坂本繁二郎画談出版
126	西日本	1962年11月15日	1962-3	河北倫明	坂本繁二郎の世界 回顧展をみて
127	西日本	1962年11月30日	1962-1		〈文化短信〉 坂本繁二郎画談
128	西日本	1962年12月05日	1962-1		「坂本繁二郎画談」〈書評〉
129	毎日	1962年12月05日	1962-1		〈郷土のほん〉 「坂本繁二郎画談」 杉森麟編著
130	フクニチ	1962年12月08日	1962-1		〈書評〉 教養にじむ人生訓 杉森麟編「坂本繁二郎画談」
131	朝日	1963年01月06日	1963-3		朝日賞の人たち (3) 坂本繁二郎氏
132	毎日	1963年01月26日	1963-2		強烈な画魂 “坂本繁二郎展”
133	朝日	1963年03月05日	1963-3		坂本繁二郎画伯顕彰記念事業委員会
134	毎日	1963年03月05日	1963-3		坂本繁二郎画伯顕彰記念委員会設立準備会
135	西日本	1963年03月10日	1963-3		坂本画伯銅像保存会として発足 坂本画伯顕彰委員会
136	朝日	1963年03月22日	1963-1		現れよ！名画家 写真：緒方コレクション開きに出席、自分の作品を見る坂本繁二郎氏
137	西日本	1963年03月22日	1963-4	二宮冬鳥	郷土画家の傑作を多数 緒方コレクション
138	フクニチ	1963年03月22日	1963-1		郷土の青木繁らの作品展示 久留米 緒方さんの個人美術館開く 写真：開館式でテープを切る坂本画伯

139	西日本	1963年04月23日	1963-4	杉森麟	〈筑後文芸〉 わたしの手帳から 『ゴッホ・エジプトの美術』 坂本繁二郎先生語録
140	朝日	1963年05月23日	1963-3		坂本繁二郎版画展
141	毎日	1963年06月21日	1963-3		〈筑後百科〉 坂本繁二郎
142	朝日	1963年09月20日	1963-3	渡辺	“ホンモノ”の探究へ一途 坂本画伯の近況
143	朝日	1963年10月23日	1963-2		朝日賞受賞記念坂本繁二郎展 10月29日-11月3日 〈社告〉
144	朝日	1963年10月23日	1963-2	源	七十年の画業一堂に 朝日賞受賞記念 坂本繁二郎展
145	西日本	1963年10月28日	1963-4	二宮冬鳥	聖なる色 坂本繁二郎の芸術
146	朝日	1963年10月29日	1963-2		おすなおすな 坂本繁二郎展開幕
147	朝日	1963年10月29日	1963-2		坂本繁二郎展 きょう開く
148	朝日	1963年10月30日	1963-4	谷口鉄雄	坂本繁二郎の芸術 一朝日賞受賞記念展をみて一
149	朝日	1963年11月04日	1963-1		坂本画伯元気で八女公園へ
150	西日本	1963年11月04日	1963-1		八女文化連盟と婦人会
151	朝日	1964年01月01日	1964-1		〈青鉛筆〉 本文：…坂本繁二郎画伯が…八女市で成人式を迎える人のために色紙の原画を描いた…
152	朝日	1964年03月18日	1964-2		“坂本繁二郎の人と芸術” カメラに収まった老画伯
153	朝日	1964年03月23日	1964-1		教養特集 「美術散歩」 坂本繁二郎の人と芸術 〈番組紹介〉
154	西日本	1964年03月23日	1964-1		教養特集 美術散歩 坂本繁二郎の人と芸術 〈番組紹介〉
155	フクニチ	1964年03月23日	1964-1		〈みもの〉 美術散歩 坂本繁二郎の人と芸術 〈番組紹介〉
156	毎日	1964年03月23日	1964-1		美術散歩 坂本繁二郎の人と芸術 〈番組紹介〉
157	西日本	1964年05月20日	1964-1		ころんでも起き上がり ラーメン屋を励ます 坂本繁二郎さん
158	西日本	1964年07月12日	1964-3		〈風車〉 坂本氏を囲む青稲会展
159	朝日	1964年08月25日	1964-1		坂本画伯が励ましに 八女市 個展を開く吉田さん
160	朝日	1964年08月30日	1964-2	杉山洋	審美会名誉会員 坂本繁二郎のことなど
161	西日本	1964年09月23日	1964-1		坂本画伯の馬市の絵を初公開
162	毎日	1964年	1964-2	徳永進	テレビの7分間 ある日の坂本繁二郎画伯
163	西日本	1964年10月13日	1964-1	杉森麟	花田君の個展に寄せて 新人会の異色作家
164	フクニチ	1964年10月14日	1964-2		いしぶみの周辺 坂本繁二郎(八女)
165	西日本	1964年10月19日	1964-2		新人会展を激励 福岡へひょっこり坂本画伯
166	朝日	1964年10月25日	1964-2		苦難越え、個展開催へ 花田さん 坂本画伯らのはげましで
167	フクニチ	1964年11月07日	1964-1		坂本画伯寿像建立記念協賛会が発足
168	朝日	1964年11月16日	1964-2		まる一年ぶりの外出 坂本画伯、弟子の個展に
169	西日本	1964年11月16日	1964-2		坂本画伯が花田個展を鑑賞
170	西日本	1964年11月27日	1964-4		坂本画伯も激励 柳川市の児童画展
171	西日本	1964年12月05日	1964-4		ユーモアまじえ指導 柳川 坂本画伯迎え児童画展
172	毎日	1965年02月15日	1965-2		福岡県の戦後史 激動二十年 85 食糧、絵具もなく 坂本繁二郎さん たぎる情熱
173	西日本	1965年02月21日	1965-3	岸田勉	消えた“肉弾三勇士”
174	西日本	1965年02月24日	1965-3	(座談会)伊東静尾、池上丁一、他	二科西人社30年 その歴史を語る (中) 新人発掘をねらう 柱になった坂本繁二郎
175	朝日	1965年03月02日	1965-2	源記者	最近の坂本繁二郎画伯 きょう83歳の誕生日
176	西日本	1965年04月20日	1965-2		とても83歳とは 坂本画伯 新人会で指導
177	フクニチ	1965年04月20日	1965-2		〈街灯〉 余生の楽しみ 本文：八女市に住む坂本繁二郎画伯…
178	朝日	1965年04月29日	1965-3	坂本繁二郎	恩師・森先生のこと 森三美遺業展によせて
179	西日本	1965年05月24日	1965-2	片山撰三(写真と文)	美術家の顔 (1) 坂本繁二郎 ひげふるわせて“芸術論”
180	毎日	1965年07月10日	1965-2		八女に永住さめる 坂本画伯 「いまさら東京にも」
181	読売	1965年07月22日	1965-2	坂本繁二郎(談)	わたしの健康法 画家 坂本繁二郎さん
182	西日本	1965年08月05日	1965-2	P	〈まちかど〉 坂本画伯のことは
183	フクニチ	1965年08月24日	1965-3		坂本繁二郎画伯囲み批評会も 八女で“核”作品展

184	毎日	1965年10月09日	1965-2		坂本画伯“45年の宿願” 労作“牛”を完成
185	毎日	1965年11月01日	1965-2	徳永進	坂本繁二郎画伯をたずねて
186	毎日	1965年12月04日	1965-2		そっくりの画伯像 弟子が坂本さんに贈る
187	フクニチ	1965年12月05日	1965-2		よく似ているネとニコリ 彫刻家の今里氏 坂本画伯へ「像」贈る
188	朝日	1965年12月08日	1965-1		切り裂かれた“善意” 清力美術館の名画盗難
189	朝日	1965年12月08日	1965-1		名画七点盗まる 坂本繁二郎の「牛」など 大川市の清力美術館
190	フクニチ	1965年12月08日	1965-1		坂本画伯らの名画ごっそり消ゆ 悪質マニア? 切りとる
191	毎日	1965年12月08日	1965-1		名画盗難にショック 清力美術館 復元はもうダメ
192	毎日	1965年12月08日	1965-4		河北倫明著 青木繁と坂本繁二郎 〈書評〉
193	毎日	1965年12月09日	1965-1		前にも坂本画伯宅で盗難 熊本出身の男などを追及
194	フクニチ	1966年01月01日	1966-2		夢かかった『馬』の少年画家 “神様”坂本画伯が激励のお年玉!
195	毎日	1966年01月07日	1966-2		枯淡, 幽玄の世界 坂本繁二郎 〈番組広告〉
196	西日本	1966年01月10日	1966-1		どこに行った名画7点 清力美術館の盗難事件
197	毎日	1966年02月11日	1966-2		特別番組 “孤高の画境”を守る 19日テレビ 「坂本繁二郎の記録」
198	西日本	1966年02月15日	1966-2		“情熱”の貴重な記録 坂本画伯浮き彫り 19日放送 RKBが意欲的制作
199	毎日	1966年02月15日	1966-2		孤高の画伯, 坂本繁二郎氏 その日常生活を放送
200	フクニチ	1966年02月18日	1966-2		画伯のモノローグで構成 RKB あす「坂本繁二郎の記録」
201	西日本	1966年02月19日	1966-2		貴重な“独白”描く 第14回民放祭参加 『坂本繁二郎の記録』
202	毎日	1966年02月19日	1966-2		坂本繁二郎の記録 第14回民放祭参加
203	朝日	1966年02月26日	1966-1		清力美術館 名画ドロ自供
204	朝日	1966年02月26日	1966-2	源記者	坂本繁二郎画伯のこのごろ
205	西日本	1966年02月26日	1966-1		『清力美術館』荒らしを自供 余罪追及中の窃盗男 下関署
206	フクニチ	1966年02月26日	1966-1		“名画ドロ”あがる 清力美術館(大川市)の盗難事件
207	毎日	1966年02月26日	1966-1		清力美術館(福岡)の犯人が自供
208	朝日	1966年03月01日	1966-1		盗難の絵みつかる 小倉で「牛」など五点 清力美術館
209	西日本	1966年03月01日	1966-1		不明の二点に全力 清力美術館盗難事件 共犯の有無も追及
210	朝日	1966年03月02日	1966-1		「清力美術館」の絵みつかる 小倉の知人宅『牛』など5点 窃盗男が自供
211	毎日	1966年03月03日	1966-2	田中幸人記者	84回目の誕生迎えた 坂本繁二郎画伯に聞く
212	毎日	1966年03月03日	1966-2		修復される「放牧三馬」 誕生日の坂本画伯のもとへ 34年ぶり
213	毎日	1966年03月06日	1966-1		見つかった五点の名画帰る 大川市の清力美術館
214	西日本	1966年03月07日	1966-1		三ヶ月ぶりに戻る 清力美術館 盗まれた名画五点
215	毎日	1966年03月23日	1966-4		石橋美術館コレクションから 放牧三馬
216	フクニチ	1966年06月01日	1966-2	平島忠太郎	郷土の誇り 坂本繁二郎先生
217	西日本	1966年06月29日	1966-3		坂本繁二郎氏も出品 福岡で初の太平洋美術会展
218	フクニチ	1966年07月13日	1966-2		グループ・人脈 (5) 諸派 (1) 洋画壇の最長老 坂本繁二郎
219	朝日	1966年07月23日	1966-3	源	名画の中の女性 (25) 坂本薫 坂本繁二郎作 「張り物」
220	西日本	1966年08月24日	1966-1		名画五点を再び陳列 清力美術館 みごとな「修復」
221	西日本	1966年09月05日	1966-2	谷口記者	このごろ 坂本繁二郎画伯 八女市に訪れる
222	毎日	1966年09月17日	1966-2		〈雑記帳〉 本文:…坂本繁二郎画伯が…二十五号の大作“月”を完成…
223	朝日	1966年09月19日	1966-2		八女市無量寿院に大作贈る 坂本画伯
224	西日本	1966年09月19日	1966-2		心魂さえる『月』 坂本画伯, 労作を菩提寺に
225	フクニチ	1966年09月19日	1966-2		4年がかり大作“月”を奉納 坂本繁二郎画伯
226	読売	1966年09月19日	1966-1		「月」を無量寺院に奉納 坂本画伯が祖先の供養
227	読売	1966年09月21日	1966-1		「すばらしい鉄斎」 坂本繁二郎画伯, 名作展へ

228	西日本	1966年09月23日	1966-1		老夫婦の心情しみじみ 共に歩いた57年 画家坂本繁二郎 夫妻にさく 〈番組紹介〉
229	毎日	1966年09月23日	1966-1		婦人ニュース 共に歩いた57年 〈番組紹介〉
230	毎日	1966年09月27日	1966-3	戸嶋和郎	福岡評論 坂本画伯と美の追求
231	フクニチ	1966年12月15日	1966-1		坂本画伯の色紙など 八女の成人式記念品きまる
232	西日本	1967年01月01日	1967-2	(対談)坂本繁二郎, 岡潔	日本のこころ 対談 坂本繁二郎 岡潔 (1) 自然
233	西日本	1967年01月03日	1967-2	(対談)坂本繁二郎, 岡潔	日本のこころ 対談 坂本繁二郎 岡潔 (2) 抽象
234	西日本	1967年01月04日	1967-2	(対談)坂本繁二郎, 岡潔	日本のこころ 対談 坂本繁二郎 岡潔 (3) 不思議
235	西日本	1967年01月05日	1967-2	(対談)坂本繁二郎, 岡潔	日本のこころ 対談 坂本繁二郎 岡潔 (4) 友だち
236	西日本	1967年01月06日	1967-2	(対談)坂本繁二郎, 岡潔	日本のこころ 対談 坂本繁二郎 岡潔 (5) 子供と女性
237	西日本	1967年01月07日	1967-2	(対談)坂本繁二郎, 岡潔	日本のこころ 対談 坂本繁二郎 岡潔 (6) 根性
238	毎日	1967年01月23日	1967-1		坂本繁二郎画伯 弟子の個展会場へ
239	読売	1967年01月23日	1967-1		坂本画伯から“おほめ” 真藤さん40年の力作展
240	西日本	1967年02月28日	1967-2		くじ車) 話題呼ぶ坂本さんの建て物
241	朝日	1967年03月02日	1967-1		きょう85歳の誕生日 坂本繁二郎画伯
242	西日本	1967年03月02日	1967-1		“満85歳おめでとう” 坂本画伯にお祝いの花束
243	毎日	1967年03月02日	1967-1		坂本画伯85才の誕生日 毎日, 元気に絵筆
244	フクニチ	1967年03月03日	1967-1		制作の意気さかん 85歳の誕生日迎えた坂本画伯
245	読売	1967年03月03日	1967-1		これからも力作を 坂本画伯85歳の誕生日
246	西日本	1967年04月03日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (1) こころの画家 序にかえて
247	西日本	1967年04月10日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (3) 没落士族
248	西日本	1967年04月11日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (4) 絵のムシ
249	西日本	1967年04月15日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (5) 森三美
250	毎日	1967年04月15日	1967-2		ある日ある人 坂本繁二郎画伯
251	毎日	1967年04月16日	1967-2	石橋正二郎(談), 田中洋之助(聞き手)	対談閑話 美神と事業 (2) 青木繁と坂本繁二郎
252	西日本	1967年04月24日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (6) 神童
253	西日本	1967年04月29日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (7) 青木繁
254	西日本	1967年05月01日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (8) あんしゃん先生
255	西日本	1967年05月04日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (9) 上京
256	西日本	1967年05月08日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (10) 新派と旧派
257	西日本	1967年05月09日	1967-1		新手法に批判 久留米市で坂本画伯を囲む懇談会
258	毎日	1967年05月09日	1967-1		お珍しい坂本画伯 40分間, 芸術談を展開 若い経営者らの招き快諾
259	西日本	1967年05月15日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (11) 不同舎
260	西日本	1967年05月18日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (12) 無銭旅行
261	西日本	1967年05月20日	1967-1		郷土の話題 『繁と繁二郎』 〈番組紹介〉
262	西日本	1967年05月23日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (13) 福田たね
263	西日本	1967年05月29日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (14) 研究所
264	西日本	1967年06月09日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (15) 海の幸
265	西日本	1967年06月12日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (16) 夏の終わり
266	西日本	1967年06月15日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (17) 親友
267	西日本	1967年06月20日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (18) 台頭
268	西日本	1967年06月23日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (19) 芸誌「方寸」
269	西日本	1967年06月27日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (20) 東京バック
270	西日本	1967年06月29日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (21) 馬鉄通り
271	西日本	1967年07月01日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (22) 結婚
272	西日本	1967年07月04日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (23) 張り物
273	西日本	1967年07月07日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (24) 存在

274	西日本	1967年07月08日	1967-1		第63回太平洋九州展 本文：特別出品 坂本繁二郎 <社告>
275	西日本	1967年07月09日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (25) 考える牛
276	西日本	1967年07月11日	1967-1		太平洋展始まる 坂本繁二郎氏も出品 県文化会館
277	西日本	1967年07月20日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (26) 進路
278	西日本	1967年07月23日	1967-1		坂本画伯が最終審査 20回め迎えた児童画講習会 柳川市
279	毎日	1967年07月23日	1967-3		次の連載 絵を描くところ 語る人 坂本繁二郎氏
280	毎日	1967年07月26日	1967-2	坂本繁二郎(談)、 河谷日出男 (聞き手)	対談閑話 絵を描くところ (1) 自然を見つめる
281	毎日	1967年07月27日	1967-2	坂本繁二郎(談)、 河谷日出男 (聞き手)	対談閑話 絵を描くところ (2) 熱気こもる明治画壇
282	西日本	1967年07月28日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (27) 三木露風
283	毎日	1967年07月28日	1967-2	坂本繁二郎(談)、 河谷日出男 (聞き手)	対談閑話 絵を描くところ (3) わが友・青木繁
284	西日本	1967年07月29日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (28) 隅田川
285	毎日	1967年07月29日	1967-2	坂本繁二郎(談)、 河谷日出男 (聞き手)	対談閑話 絵を描くところ (4) 写楽・光琳・宗達など
286	毎日	1967年07月30日	1967-2	坂本繁二郎(談)、 河谷日出男 (聞き手)	対談閑話 絵を描くところ (5) 永遠なものへ
287	西日本	1967年08月08日	1967-2		この人このごろ 坂本繁二郎氏
288	西日本	1967年08月21日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (29) 二科会
289	西日本	1967年08月23日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (30) 哲学画家
290	毎日	1967年08月24日	1967-2		なつかしいね私の作品「たしかに」と坂本画伯 50年前のもの “対談閑話”が縁でわかる
291	西日本	1967年09月01日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (31) 渡欧
292	西日本	1967年09月04日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (32) 船旅
293	西日本	1967年09月11日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (33) パリ (1)
294	西日本	1967年09月16日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (34) パリ (2)
295	西日本	1967年09月18日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (35) ループル
296	西日本	1967年09月21日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (36) 滞欧作
297	西日本	1967年09月27日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (37) 帰国
298	西日本	1967年10月02日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (39) 弟子
299	西日本	1967年10月09日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (40) 馬 (1)
300	西日本	1967年10月11日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (41) 馬 (2)
301	西日本	1967年10月12日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (42) 八女
302	西日本	1967年10月16日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (43) 古賀春江
303	毎日	1967年10月22日	1967-1	河谷記者	奥深いルノワール 坂本繁二郎画伯に聞く
304	西日本	1967年10月23日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (44) 風土
305	西日本	1967年10月25日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (45) 肉弾三勇士
306	西日本	1967年10月30日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (46) 二科分裂
307	西日本	1967年10月31日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (47) 画商
308	西日本	1967年11月02日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (48) 戦争
309	西日本	1967年11月03日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (49) 西部美術
310	西日本	1967年11月	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (50) 芸術院会員
311	西日本	1967年11月09日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (51) けしけし山
312	西日本	1967年11月13日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (52) 物感
313	西日本	1967年11月20日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (53) 能面
314	西日本	1967年11月23日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (54) 新人会
315	西日本	1967年11月24日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道 (55) 月雲
316	西日本	1967年11月25日	1967-2	谷口治達記者	坂本繁二郎の道をもって
317	フクニチ	1968年01月08日	1968-1		坂本画伯も特別出品 サルと人生展

318	毎日	1968年01月19日	1968-2		あすから九大でドック入り 坂本繁二郎画伯
319	朝日	1968年01月20日	1968-2		九大の人間ドック入り 坂本画伯
320	読売	1968年01月20日	1968-2		坂本画伯ドック入り
321	西日本	1968年01月22日	1968-2		坂本画伯・青春の大作 『北茂安村の一部』 西相銀の新ビル飾る
322	朝日	1968年02月27日	1968-1		美術ファンに画廊開放 郷土画家の作品を展示して 八女市の樋口さん 本文：…坂本繁二郎画伯から贈られた「ハサミ」など郷土の画家のコレクションを展示…
323	フクニチ	1968年02月27日	1968-1		〈テロップ〉 TNC 本文：…番組「坂本繁二郎の画業・或る訪問」…
324	西日本	1968年02月29日	1968-1		TNC 十周年記念特別カラー番組み 或る訪問 坂本繁二郎の画業
325	読売	1968年03月02日	1968-2		〈みなど〉 本文：…坂本繁二郎画伯が二日、八十六歳の誕生日…
326		1968年03月	1968-2		庭いじりの毎日 八十六歳迎えた坂本さん
327	西日本	1968年03月03日	1968-2		坂本画伯、86歳に「月」の連作に取り組む
328	フクニチ	1968年03月03日	1968-2		〈街灯〉 すこやか坂本画伯
329	毎日	1968年03月03日	1968-2		意気盛ん、坂本画伯 元気に86歳の誕生日
330	西日本	1968年03月06日	1968-1		“うまくなったよ” 坂本画伯が直接指導・審査 柳川市の児童画展 二十回めを迎える
331	朝日	1968年03月18日	1968-3		〈点描〉 現代の巨匠四人展
332	西日本	1968年03月22日	1968-3		梅原、坂本、小糸、林 東京 現代の巨匠四人展
333	西日本	1968年03月24日	1968-2		七年ぶりの再会を喜ぶ 坂本、田崎両画伯
334	毎日	1968年03月24日	1968-3		〈画廊〉 肩のこらぬ親近感 現代巨匠四人展
335	読売	1968年04月04日	1968-3	藤井源一	〈美術評〉 洋画の性格を反映 「現代の巨匠四人展」
336	西日本	1968年06月03日	1968-2		大村氏が坂本画伯像を制作
337	西日本	1968年06月06日	1968-1		広がる生家保存運動 画壇の2巨匠(故青木繁 坂本繁二郎)も
338	西日本	1968年06月09日	1968-1		高まる保存への動き 青木繁、坂本繁二郎氏生家
339	西日本	1968年06月10日	1968-1	田中幸夫	坂本繁二郎とその母 保存したい久留米の生家
340	西日本	1968年06月15日	1968-1		青木繁、坂本繁二郎両生家 保存検討会を設置 久留米連文会総会
341	毎日	1968年06月19日	1968-1	戸嶋記者	「わが友、白秋」 坂本画伯も生家保存に一役
342	西日本	1968年07月05日	1968-2		『坂本繁二郎の道』近く出版
343	読売	1968年07月08日	1968-2		坂本画伯も元気に投票
344	朝日	1968年08月10日	1968-2		暖かくつづった画歴 谷口治達著 坂本繁二郎の道 〈書評〉
345		1968年08月11日	1968-2	河北倫明	“坂本芸術”浮きぼり 谷口治達著 坂本繁二郎の道 〈書評〉
346		1968年	1968-2		〈ほん〉 坂本繁二郎の道 谷口治達著
347	朝日	1968年09月25日	1968-2		〈点描〉 坂本画伯、健康に 一年ぶり、絵筆にぎる
348	読売	1968年10月20日	1968-1		坂本画伯も参観申し出 八女の文化祭始まる ふたあけ児童らの作品展
349	毎日	1968年10月21日	1968-2		坂本画伯が下絵を寄贈 わが友、白秋のために 未発表の馬2点
350	西日本	1968年10月22日	1968-1		子供らの力作ほめる 坂本画伯 児童生徒作品展へ 八女
351	フクニチ	1968年10月22日	1968-1		ひょっこり坂本画伯 八女 夫人同伴で「小中学生作品展」へ
352	毎日	1968年10月22日	1968-1		ヒョッコリ坂本画伯 八女市の小中学生作品展へ 一年ぶりの外出
353	読売	1968年10月22日	1968-1		じっくり坂本画伯 子どもの作品を鑑賞 八女
354	西日本	1968年10月26日	1968-1		白秋生家保存運動 色紙展と即売会 第一線画家38氏が協力
355		1968年10月30日	1968-1		あすから福岡で 白秋生家保存募金 有名画家の「色紙展と即売会」

356	西日本	1968年11月01日	1968-1		特に光る坂本画伯の“馬” 白秋生家保存運動 うっとり「色紙展と即売会」
357	西日本	1968年11月01日	1968-1		栄光の群像 近代日本の洋画史をひらいた九州の画家たち展から (4) 坂本繁二郎 古賀春江
358	毎日	1968年11月05日	1968-1		白秋生家保存募金の色紙展 きょうまで
359	毎日	1968年11月05日	1968-3	戸嶋和郎	福岡評論 坂本画伯のスケッチ
360	毎日	1968年11月06日	1968-3		白秋生家保存 「色紙展」終わる 坂本画伯の二作品も落札
361	西日本	1969年02月03日	1969-2		坂本繁二郎氏をめぐる話題
362	西日本	1969年03月03日	1969-2		米寿迎えてなお制作中 坂本繁二郎画伯
363	毎日	1969年03月03日	1969-2		「毎日が自然との勝負」 坂本繁二郎画伯 元気に87歳の誕生日
364	読売	1969年03月07日	1969-2		坂本画伯と念願の対面 日韓文化使節の金氏
365	西日本	1969年04月01日	1969-1		久留米と人 異色の人材輩出 “画壇の鬼才”青木, 坂本
366	西日本	1969年05月22日	1969-3	杉森麟	〈書斎〉 いつも古典に学ぶ 坂本画伯と隣合わせ
367	朝日	1969年07月15日	1969-2		坂本繁二郎氏(洋画家)死去
368	朝日	1969年07月15日	1969-2	河北倫明	坂本さんの死をいたむ
369	朝日	1969年07月15日	1969-2		家族だけでお通夜 家族をマクラ元に遺言 身動きもせず大往生
370	朝日	1969年07月15日	1969-2	源弘道記者	人間・坂本繁二郎 平凡に徹した非凡さ
371	西日本	1969年07月15日	1969-2		純粹…清冽…平和な生涯 坂本繁二郎
372	西日本	1969年07月15日	1969-2	河北倫明	坂本繁二郎の芸術
373	西日本	1969年07月15日	1969-2		盛り上がる『生家』保存 故坂本画伯
374	フクニチ	1969年07月15日	1969-2		坂本繁二郎画伯死去
375	フクニチ	1969年07月15日	1969-2	深野記者	“巨星が落ちた”悲しむ市民 坂本画伯の死
376	毎日	1969年07月15日	1969-2		坂本繁二郎氏死去
377	毎日	1969年07月15日	1969-2	河谷日出男	巨匠とひとりの記者 坂本繁二郎画伯をいたむ
378	毎日	1969年07月15日	1969-2		ひっそり「大坂本」の死 家族だけでお通夜
379	読売	1969年07月15日	1969-2		坂本繁二郎氏
380	読売	1969年07月15日	1969-2		坂本画伯へ質素なお別れ 孤高の絵筆死なず
381	読売	1969年07月15日	1969-2		深い悲しみの坂本邸
382	読売	1969年07月15日	1969-2	岸田勉	坂本芸術の世界
383	西日本	1969年07月16日	1969-2		故坂本画伯をしのいで… 悲しみに包まれた筑後の人たち
384	西日本	1969年07月16日	1969-2		〈春秋〉 本文:…いま日本でいちばん高いのはだれかといえば、それは坂本繁二郎である…
385	フクニチ	1969年07月16日	1969-2		〈きのう今日〉 坂本画伯の死
386	フクニチ	1969年07月16日	1969-2	青木寿	坂本繁二郎先生をしのぶ
387	毎日	1969年07月16日	1969-2		四十年住んだ自宅とお別れ 故坂本画伯, だびに
388	毎日	1969年07月16日	1969-2		つきぬ思い出語る しめやかに坂本画伯のお通夜
389	毎日	1969年07月16日	1969-2		生家の保存を 久留米連合文化会立上がる
390	毎日	1969年07月16日	1969-2		坂本先生をしのぶ
391	読売	1969年07月16日	1969-2		いまさらに偉大さ 銅像前で悲しむ市民 故坂本画伯
392	読売	1969年07月16日	1969-2		遺徳を慕って80人が見送り 坂本画伯の密葬
393		1969年07月17日	1969-2		21日に八女市葬 故坂本繁二郎画伯
394	西日本	1969年07月17日	1969-2		坂本画伯の遺体ダビに 親しい人たちに守られて
395	西日本	1969年07月17日	1969-2	〈座談会〉杉森麟, 坂宗一, 伊東静尾, 岸田勉	座談会 坂本繁二郎 人と芸術
396	読売	1969年07月17日	1969-2		坂本さんの絶筆“馬の絵” 完成間近だった50号 密葬に参列の画商語る
397	毎日	1969年07月18日	1969-2		坂本画伯と静かな別れ
398	読売	1969年07月18日	1969-2		市民ら多数が参列 しめやかに坂本画伯の告別式
399	朝日	1969年07月19日	1969-2		しめやかに焼香 故坂本画伯の告別式
400	西日本	1969年07月	1969-2		告別式に『月』を展示 故坂本画伯 参列者に新たな感激
401	西日本	1969年07月19日	1969-2		いつまでも故人を惜しむ声 坂本繁二郎画伯の告別式
402	毎日	1969年07月19日	1969-2		盛夏の中でしめやかに 悲しみに耐える薫夫人

403	読売	1969年07月19日	1969-2		〈いずみ〉 本文：坂本繁二郎画伯の告別式が行なわれた十八日…
404		1969年07月	1969-2		“陰の絵筆”となって… 巨匠の妻・坂本薫さん
405		1969年07月	1969-2		さようなら、坂本先生
406		1969年07月	1969-2		作品に喪のリボン 第65回太平洋展
407	西日本	1969年07月20日	1969-2		あす八女市葬 故坂本繁二郎氏
408	西日本	1969年07月21日	1969-2	二宮冬鳥	自然に還った自然児 坂本繁二郎画伯・最後の一カ月
409	朝日	1969年07月22日	1969-2		故坂本画伯しのぶ 二十年続く図画講習会 児童約千人が参加
410	朝日	1969年07月22日	1969-2		教養特集 坂本繁二郎の世界 〈番組紹介〉
411	西日本	1969年07月22日	1969-2		尽きぬ月との因縁 故坂本繁二郎氏の市葬
412	フクニチ	1969年07月22日	1969-2		しめやかに八女市葬 坂本繁二郎画伯の偉業たたえ
413	毎日	1969年07月22日	1969-2		しめやかに画業しのもので 故坂本画伯の八女市葬
414	毎日	1969年07月22日	1969-2		めい福祈る700人 故坂本画伯の八女市葬
415	読売	1969年07月22日	1969-2		遺徳を慕う多勢の人 八女市葬 坂本画伯に最後の別れ
416	朝日	1969年07月26日	1969-2	綱	〈土曜の手帳〉 不退転の姿勢学べ 坂本繁二郎の死と九州
417	朝日	1969年07月27日	1969-2	田中幸夫	〈読者コーナー〉 坂本繁二郎の生家で
418	西日本	1969年07月29日	1969-2		具体化する生家保存 故坂本画伯
419	西日本	1969年08月02日	1969-2		カラー映画を上映 小倉で坂本繁二郎をしのぶ会
420	西日本	1969年08月14日	1969-2		静かに故人しのぶ 坂本繁二郎画伯の初盆
421	毎日	1969年08月14日	1969-2		霊前で遺業しのぶ知人ら 坂本画伯の初盆
422		1969年	1969-2		坂本画伯の墓参へ 九州陶芸展審査委員長 谷川徹三氏
423	西日本	1969年08月24日	1969-2		八女市の文化施設事業に寄託 故坂本繁二郎画伯の香典返し
424	毎日	1969年08月24日	1969-2		八女市の文化発展のために 坂本薫未亡人が香典返しにかえて30万円を寄付
425	西日本	1969年08月31日	1969-2		遺族に守られしめやかに 坂本画伯の納骨式
426	毎日	1969年08月31日	1969-2		関係者に見守られ 坂本画伯の遺骨納める
427	読売	1969年08月31日	1969-2		故坂本画伯の納骨式
428	西日本	1969年09月25日	1969-1		1日から有馬記念館で 坂本繁二郎をしのぶ特別展 書簡、遺品なども展示
429	西日本	1969年09月29日	1969-1		“馬”や“能面”シリーズ 来月3日から福岡市で 坂本繁二郎展
430	毎日	1969年09月30日	1969-1		巨匠・坂本繁二郎をしのぶ あすから特別展
431	読売	1969年09月30日	1969-1		坂本繁二郎をしのぶ作品展 久留米ですから 本文：…十月一日から十一月三十日まで、久留米篠山町の有馬記念館二階ホールで開かれる…
432	西日本	1969年10月01日	1969-1		〈展覧会〉 坂本繁二郎をしのぶ特別展
433	朝日	1969年10月02日	1969-1		色紙「はぜ」など106点 故坂本画伯 特別展はじまる
434	読売	1969年10月02日	1969-1		坂本画伯しのぶ特別展 ゆかりの久留米で始まる
435	西日本	1969年10月03日	1969-1		坂本繁二郎特別展から (1) 本とロウソク
436	毎日	1969年10月03日	1969-1		〈展覧会〉「坂本繁二郎展」 本文：12日まで、福岡市天神二、住友生命ビル2階、福岡フォルム画廊…
437	西日本	1969年10月04日	1969-1		坂本繁二郎特別展から (2) 収穫
438	毎日	1969年10月04日	1969-1		坂本画伯の遺作展開幕 本文：三日から…フォルム画廊で始まった…
439	西日本	1969年10月05日	1969-1		坂本繁二郎特別展から (3) 三勇士デッサン
440	西日本	1969年10月07日	1969-1		坂本繁二郎特別展から (5) 版画・馬
441	西日本	1969年10月07日	1969-1	岸田勉	坂本繁二郎にみる野望と反俗 『よき穴あらば新聞社に…』
442	西日本	1969年10月08日	1969-1		〈美術〉 にじみ出る人柄 ふたつの坂本繁二郎展
443	フクニチ	1969年10月08日	1969-1		〈展覧会〉 坂本繁二郎展
444	読売	1969年10月08日	1969-1		〈展覧会案内〉 坂本繁二郎展
445	西日本	1969年10月09日	1969-1		〈画廊〉 坂本芸術の流れ 故坂本繁二郎作品展
446	西日本	1969年10月09日	1969-1		坂本繁二郎特別展から (7) 詩集表紙装画『地下水』
447	西日本	1969年10月10日	1969-1		坂本繁二郎特別展から (8) 暁の富士
448	西日本	1969年10月11日	1969-1		坂本繁二郎特別展から (9) 遺品『チャンチャンコ』

449	西日本	1969年10月21日	1969-2		『母の像』から新しい詩発見 “いたわりの心”切々 母思いだった坂本画伯
450	西日本	1969年10月23日	1969-2		本文：故坂本繁二郎画伯の傑作『母の像』の裏面に…
451	毎日	1969年10月24日	1969-1		あすから八女市文化祭 坂本画伯追悼記念
452	朝日	1969年10月25日	1969-2		坂本記念館建設へ 八女市 市民運動盛上げ
453	日本経済	1969年10月27日	1969-4		坂本繁二郎 私の絵私のところ 日本経済新聞社 〈広告〉
454	西日本	1969年11月01日	1969-1		坂本画伯を追悼 八女市文化祭の洋画展
455	読売	1969年11月01日	1969-1		坂本画伯しのび盛り上がる 八女市民洋画展開く
456	西日本	1969年11月07日	1969-2	谷口記者	坂本繁二郎の絶筆“月光”を確認
457	西日本	1969年11月13日	1969-3		坂本繁二郎画伯をしのぶ 座談会
458	朝日	1969年12月03日	1969-2		〈点描〉 一位は坂本画伯の死去 九州文化10大ニュース
459	朝日	1969年12月12日	1969-1		坂本繁二郎追悼展 代表作を約120点 福岡 来月13-18日 全国5会場 主催朝日新聞社 〈社告〉
460	西日本	1969年12月12日	1969-1		坂本繁二郎追悼展 西日本新聞社 〈社告〉
461	朝日	1969年12月13日	1969-1	豊田勝秋	坂本繁二郎追悼展に期待する
462	読売	1969年12月16日	1969-1		坂本繁二郎の追悼展 来月福岡で
463	朝日	1969年12月27日	1969-1		坂本繁二郎追悼展 きょうから前売券発売 〈社告〉
464	西日本	1969年12月27日	1969-1		坂本繁二郎追悼展 前売り券発売開始 〈社告〉
465	西日本	1969年12月31日	1969-2		坂本繁二郎画伯逝く